

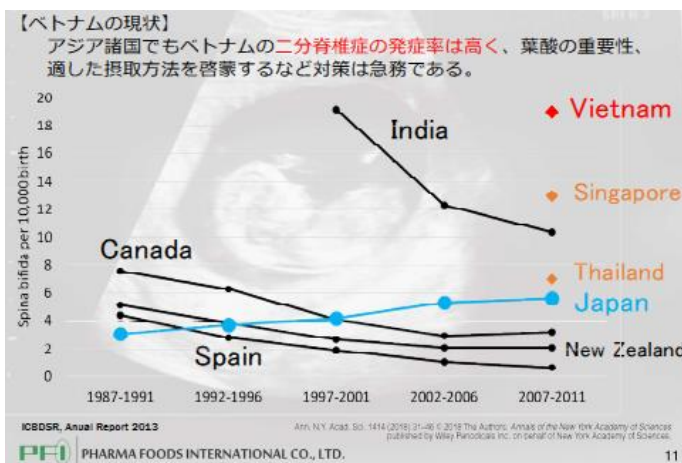
各位

2021年4月12日

ベトナムでの妊婦の栄養改善プロジェクトが始動 JICAと基礎調査の契約締結、葉酸たまごの海外販売拡大を目指す

株式会社ファーマフーズ（本社：京都市西京区、代表取締役社長：金武祚）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）との間で、「ベトナム国妊婦の栄養改善に資する葉酸たまごの販売促進にかかる基礎調査（以下「本事業」）」に係る業務委託契約を締結し、本事業を開始いたしましたのでお知らせいたします。

本事業は、2020年2月に「中小企業・SDGsビジネス支援事業」としてJICAに採択されました。採択後、調査計画及び調査完了後の販売計画について協議を重ね、2021年3月に契約締結いたしました（2022年3月まで）。



各国における二分脊椎症の発症率

ベトナム国では国民の栄養改善に大きな課題が存在しています。特に妊娠期の葉酸不足による先天的な脊椎骨の形成不全、いわゆる二分脊椎症の発症率は極めて高い状態です。

「ベトナム国家栄養戦略[※]」においても、妊産婦等への「葉酸補給」が明記され推奨されています。そのため、同国の国立栄養研究所（以下「N I N」）は、「人生最初の1,000日（妊娠から2歳までの乳幼児）の栄養介入」を実行課題としています。

本事業において、当社はN I Nと協力して、ハノイ、ホーチミン市等主要都市において産婦人科関係者や10~50歳代の女性に対して調査を約1年間行います。調査を通じて、葉酸の認知程度及び機能性食品に対するニーズ、価値観を把握し、葉酸たまごを現地のニーズ、価値にどのように適合させていくかを判断いたします。

また、当社はN I Nに対し、葉酸に関する知見と技術を提供します。これにより、N I Nは、ベトナム全土で妊婦の葉酸摂取の実態が把握でき、葉酸の重要性が広く認知されるとともに、製品の具体的な栄養評価により、消費者への信頼性を高めることができます。

N I Nと協力して本事業を遂行し、葉酸への認知・信頼性を高めることで、当社は葉酸たまごの特殊飼料「ファーマバイオミックス」の販売を拡大していく計画です。本事業の遂行により、葉酸をたまごで摂取することが日常的になると考えます。アジアの大手食品総合企業グループをはじめとした現地商社と販売代理店契約を結び、現地の鶏卵生産会社や小売店への幅広い普及を目指しております。

栄養・健康面での世界的な課題に対し、当社は研究及び事業展開を通じてその解決を図り、SDGs達成に寄与してまいります。

※ ベトナム国家栄養戦略 2011-2020 および 2030 年に向けたビジョン